

中学・高校生～

2019年3月 no. 70

2019

よんでネット*

春号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

「黒板アート甲子園作品集」 高校生たちの消えない想い



日東書院本社〔720二〕

数字や漢字や英単語、書いては消され、書いては消され、それがおなじみの黒板の姿。でも、ひとたび美術部員の手にかかれば黒板もこんな素敵なおキャンバスに！2015年より始めた高校生のための「黒板アート甲子園」。全国の高校生たちが、仲間と手を取りあい、様々な想いを込めて描きあげた黒板アート作品集です。

「アリになった数学者」

森田真生・文 脇阪克二・絵

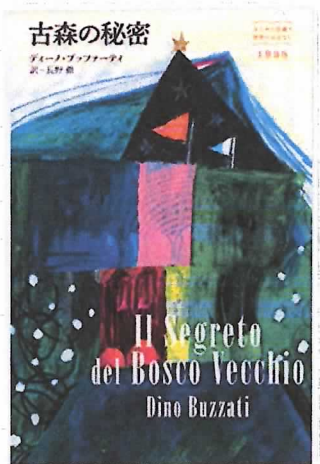
これは、数学者の書いた本です。でも、「底辺×高さ÷2は何？」なんて聞きませんからご安心を。そのかわりアリになっている自分を想像してみてください。甘い実が1つ落ちています。アリに「甘い」は分かってても、「1」は分からない。いいえ！アリになって考えると別の「1」が見えてくるのです。それは、輝く「1」、動く「1」…まさか？



福音館書店
〔41モ〕

「古森の秘密」 ディーノ・ブツァーティ 訳=長野徹

精霊の息づく美しい古森を相続したプロコロ大佐は、冷酷にも大昔から切り取られたことのない古森のモミを伐採しようとする。森の精霊たちを黙らせるために、洞穴に閉じこめられていた暴風マッテオを解放し、服従を誓わせた。次に大佐は、遺産を独り占めしようとしてマッテオを使って、^{かい}甥のベンヴェヌートをとき者にしようとするのだが…。



東宣出版 [973ブ]

「ドライ・ラマに恋して」

たかめてるこ

「生のドライ・ラマに会ってみたい」
そんなミーハーな思いで、チベット・インドを突き進んだOLたかめてるこは、旅の途中いろいろな人に会うが、その質素な生活からは想像できないほど、バガ豊かで、常に他者を思いやり、今を大切に生き、夢と希望を持ってと教えられ、自分の失恋の痛みもやわらいでいくような気がした。

そしてついにドライ・ラマの前へ。



幻冬舎 [2929]

「オルゴオル」 しゅかわみはと 朱川 湊人

小学4年のハヤトは、同じ団地に住む東田のおじいさんから、古いオルゴオルを鹿児島島の友人に届けるように頼まれた。まもなく、おじいさんは部屋で死んでいるのが発見された。ハヤトは旅費としてもらった二万円ですべてゲームを買ってしまう。だが、このことが彼を苦しめ、お母さんにも話せない。そこで、離婚して大阪に住むお父さんに相談しようと一人旅立ったのだが、そこに待っていたのは…。そして、オルゴオルの謎は？



講談社
[913.6シ]
YA